



ヘルパーだより



《法人理念》 あたたかい手 やさしい心で
つなげよう 福祉の輪
《経営理念》 おもいやりと 笑顔の介護で
地域福祉を支えます

【本拠地】魚沼市堀之内4327番地1
堀之内社会福祉センター内 TEL:025-794-6207
.....
【守門・入広瀬出張所】魚沼市須原1237番地1
守門健康センター内 TEL:025-797-2262

カレンダーも最後の一枚となり、年の瀬も押し迫ってまいりました。少しずつ日常を取り戻しているとはいえ、今年も新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。ますます寒い季節になり、インフルエンザや風邪も流行する時期になります。引き続き、手洗い、うがいの習慣が大切です。

日頃より、訪問介護事業にご理解、ご協力頂きありがとうございます。
コロナ禍でいろいろな場面での我慢を強いられ、制限のある生活のまま今年も残り少なくなっていました。

さて、今年のご存じの通り「寅年」でしたが、特に「壬寅(みずのえとら)」と言われ、「成長」や「始まり」の年だそうです。私ごとですが、年女で「還暦」の年でもありました。「寅」は春の木を表し、厳しい冬を超えて元気になり外へ向かっていく、という意味があるそうです。また来年は「癸卯(みずのとう)」で「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年と言われています。

当事業所もそうなることを願って、これまで以上に頑張っていきたいと思います。

管理者： 中村 容子

*** 介護まめ知識 ***



寒い季節になると、「身近な保温グッズ等でやけどしてしまった」という話を耳にします。そこで、今回は「**低温やけど**」について取り上げてみたいと思います。

「**低温やけど**」は、体温よりも少し高めの温度のものに長時間触れ続けることによって起こります。症状が見た目にはわかりにくかったり、痛みを感じにくいことがあるので、軽症と勘違いしてしまいがちです。

○低温やけどの症状とは？

- ・軽い症状： ヒリヒリとした痛みとうっすらとした赤み
- ・中度の症状： 強い痛みや赤み、水ぶくれが発生する
- ・ひどい場合： 皮膚が壊死してしまい、病院での治療にも時間がかかる

○低温やけどになりやすいかたは？

・皮膚の薄い高齢のかた ・寝返りのできない乳児 ・知覚や運動能力に麻痺があるかた ・糖尿病などで手足の循環が悪いかた ・泥酔しているかた ・体の感覚が鈍くなっているかた

○原因となるものは？

・湯たんぽ、電気あんか：就寝時に湯たんぽや電気あんかが足に触れたまま眠ってしまい、翌朝水ぶくれができてしまうケースが多いようです。
・使い捨てカイロ、靴下用カイロ；貼るタイプの使い捨てカイロは、必ず衣服の上に貼り、同じ箇所に長時間当てない。貼ったまま眠らない。

○低温やけどの予防法は？

湯たんぽ、電気あんかは、厚手のタオルや袋、専用カバーで包んでいても低温やけどになる可能性があります。湯たんぽや電気あんかは就寝前に布団に入れ、布団を温める目的で使用しましょう。就寝時は、布団から出す、足から遠ざけることがよいでしょう。電気毛布、電気敷布も同様、電源を入れて暖め、就寝前には切るようにして、一晩中使用しないようにしましょう。

○水ぶくれになってしまったら？

雑菌が入ってしまう恐れがあるため、つぶさないようにしてください。低温やけどになってしまったら、軽症、重症に関わらず医療機関に受診し、適切な処置を受けましょう。

出典：やまだ皮膚科クリニックホームページより

*** これからの時期、「低温やけど」が増えてきます。ぜひ参考にしてみてください。**



編集後記：

通勤途中にある園芸店で、夏前にバラを一株購入し、花壇に植えました。かわいらしい黄色の花が咲き、ぐんぐんと枝を伸ばして元気に大きくなりました。来年もたくさん花をつけてほしいです。

